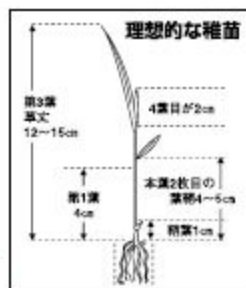


# 苗づくりのポイント

水稻種子は必ず毎年更新しましょう!!

産地品種銘柄の確認

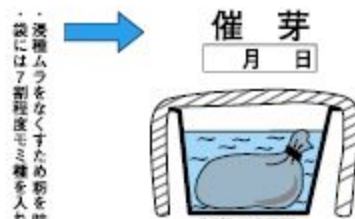
- ※JAからの購入種子は、塩水選は不要です。また、種子は消毒剤が粉衣されています。(種子消毒済)
- ※夢たんばの種子は温湯消毒用ですので、各営農経済センターへお申し込み下さい。



※ 月 日 の欄には自家での計画を記入して活用下さい。



- 浸種 月 日  
播種の10日前
- 水温10℃で6~8日
  - 水温15℃で4~5日
  - 最初の2日間は種子消毒のため水を交換しない。
  - 3日目からは酸素供給のため毎日水を交換する。



- 催芽 月 日
- 30℃で2日間
  - ・初がハト胸程度。
  - ・桶で温度維持をして浸漬する。
  - ・浸漬が不十分だと催芽ムフがおこりやすい。

・浸種ムラをなくするため初を時々かくはんする。  
・袋には7割程度モミ種を入れる。

（平日程度終了する）  
桶の水分を十分切る。

## 床土の準備

山土利用の場合



●床土は1箱当たり約4g。

粒状培土利用の場合



水分調節がしやすく  
良質苗が出る。  
肥料・農薬とも不要。

## 育苗資材の消毒

(ケミケロンG  
500倍希釈液  
又はジョウロ消毒)



●育苗器・保シートもジョウロ  
で消毒。(日陰で行う)  
※消毒後、水洗いする。

## かん水



十分にかん水する。

かん水不足は  
根の浮き上がりや  
発芽不揃いの  
原因になる。

## 播種と覆土



うす播きの順行  
1箱当たり播種量150gとする。  
(酒米は170g)

## 苗立枯病の予防

ダコレート水和剤  
600倍液を箱当たり  
500mlかん水する。  
(10分で20箱分)  
(夢たんばは使用しない)

## JA水稻苗の配達後の管理

- 緑化苗、中間苗の管理
  - ・苗は、播種後約1週間の間(但し中間苗の場合は播種後約2週間の間)です。次のことに注意して下さい。
  - ・強い直射日光に当たらない。
  - ・温度管理に注意する。  
(昼...20℃~25℃、夜...10℃以上で管理)
  - ・苗は耐寒性低温や、高温にあわせないようにする。夜間は保温シートで対応するなど、工夫が必要です。(低温障害—根張りが悪く、ムレ苗・病気の発生)
- 硬化苗の管理
  - ・温度管理に注意する。  
(昼...20℃~25℃、夜...10℃以上で管理)
- ムレ苗防止
  - ・育苗育苗のためかん水過多には注意する。
  - ・ハウスの温度管理において晴天時には朝早くに開け、雨天等で湿度を保ちたいときは夕方早く閉める事が望ましい。

## 田植

月 日

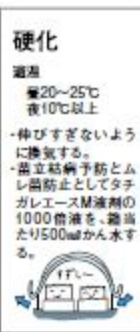
本田栽植密度  
坪当たり60株がめやす。

## いもち病 イネミズゾウムシの予防

●田植前に箱施用剤を均一に散布する。  
(散布時期・散布量は薬剤の使用法を参照する)

■苗に付着した粒剤を払い落としたり、軽くぬぐう。

月 日 ← 月 日 ← 月 日



## 硬化

温度  
昼20~25℃  
夜10℃以上

- ・伸びすぎないように換気する。
- ・苗立枯病予防とムレ苗防止としてタチガエースM液剤の1000倍液を、箱当たり500mlかん水する。



## 発芽

苗が1.0~1.5葉  
になったら、すそ  
をめてくって換気  
する。



## 露地育苗

ビニール おもし  
ムシロを敷いた  
上に育苗箱を10  
段以内で積み、  
ビニールでつつむ。



## 緑化

2~3日間  
温度  
昼25~30℃  
夜10℃以上  
苗の高さ2cm程度



## 発芽

2~3日間  
温度28~30℃  
1cm以内

## 育苗器